



2026 年度

あいじ福祉会 黒部愛児保育園
TEL 52-4516

7月 保育園だより

あいじ福祉会の理念

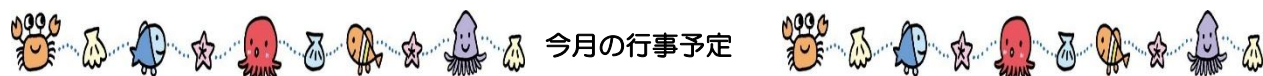
基本理念…乳幼児の最善の利益を図る

保育理念…人間性の優れた発芽と稔りを願う親の心を心とし、親の願いを願いとして、乳幼児ひとりひとりの生涯におよぶ幸せに寄与することを念願とする。

園庭では子ども達の「ここにめっちゃダンゴ虫おるんやぜ」「この葉っぱ、おいしいって食べとる」などの声が聞こえてきます。こんなかわいい声が聞こえるのも日々幸せに過ごしているからこそです。

2年前の能登半島地震、先日の茨城県南部を震源とする震度5弱の地震、フィリピンで起きた地震、東京都の小学校で起こった火災などを考えると、災害はいつどこで起こるか分かりません。

日頃、子どもたちの命を守るための訓練や話し合いを重ね、食材や防災グッズの見直しをしていきます。ご家庭でもぜひ、防災グッズの確認、避難時のルールについて話し合っておきましょう。



今月の行事予定

1(水)	イングリッシュタイム 9:30～ ルーカス先生 (4,5 歳児) 交通指導 毎月 1 日、15 日は年齢に適した交通ルールを学びます。	20(月)	海の日
2(木)	桜井高校生活環境科 保育体験	21(火)	フレンズタイム 避難訓練 … 想定：地震（早朝保育） 身体測定（至 27 日）
6(月)	フレンズタイム 歌に合わせて「あいうべ体操」「足元気体操」「ラジオ体操」を通して健康増進と異年齢交流を図ります。	23(木)	子育てサポーターシニアサロン 9:30～ 運動教室（5 歳児）
9(木)	イングリッシュタイム 9:30～ ブライアン先生・りえ先生(4,5 歳児)	24(金)	命ありがとう パパ・ママデイ 10:30～ 当月の誕生児をお祝いします。命ありがとうの日です。 ※3 園合同研修会 18:00～
11(土)	あいじ家族まつり 17:00～19:00	27(月)	フレンズタイム
11(土)	夏の交通安全県民運動（至 20 日） 街頭監視（13 日～17 日）	31(金)	同窓会 1 年生のつどい 随時布団持ち帰り シーツや枕の洗濯、乾燥をして、次回持たせて下さい。
12(日)	第 25 回 コーレ草取りボランティアファイナル 7:00～8:00		＜ 8 月の行事予定 ＞
13(月)	フレンズタイム	7(金)	陶芸教室（5 歳児）
15(水)	交通指導		

保育・教育

保育園では毎月子ども達と一緒に自分の身を守るため、地震・火災・洪水など、様々な想定で避難訓練を行っています。今回は日頃の訓練で行っていること、その中での子どもたちの様子や学びなどお知らせします。



0 歳児 ひよこ組



1 歳児 りす組



毎月の避難訓練では、子ども達が不安がらずに行えるように、日頃から「先生の所まで集まれ～」「お口、しーって、できるかな?」「ここで座るよ」などと、遊びの中で避難訓練を意識しています。4.5 月頃は、訓練を知らせる放送にドキドキし、動揺する子もいましたが、「大丈夫だよ」「先生もお友達もいるよ」などと、繰り返し伝えたり、抱っこしたりすることで、今では、少しずつ不安がらずに参加できるようになってきました。引き続き、子ども達が安全に安心して避難ができるように、保育者間で連携を図りながら、避難の動きや声掛けをしていきます。



2 歳児 うさぎ組



3 歳児 いぬ組

訓練の合図が鳴ると、遊んでいた手を止め、放送に耳を傾けようとする姿勢が見られます。「みんな、先生のところに集まるよ」「火事だから、口を抑えて行きます」「地震だから、防災頭巾被りましょう」等と、状況にあった声掛けをすることで、静かに保育者の元に集まり、自分の身を守ろうとする姿が見られます。また、日々の遊びの中では、「地震です」「頭守ろう」と子ども達同士で地震ごっこをするなどの姿が見られ、訓練日のみならず、自分たちの中に習得していこうという姿があります。今後も日々の訓練を大切に取り組んで参ります。



4 歳児 くま組

～5 月の避難訓練時の様子から～
防災頭巾を上下逆に被ったり、被り方を忘れていたため、防災頭巾の正しい被り方を再度説明し、くま組みんなで『頭巾かぶりゲーム』を行いました。
① 頭巾が置いてある位置までかけっこをする
② 頭巾を正しく素早く被る
③ 被ったら全力で走り、“避難完了”
子ども達は、遊び感覚で楽しみながら、**正しく・素早く**頭巾を被ぶることができました。また、もしもの時には、靴を履く際も早く履くことが大切であることを、保育者が実際に示して知らせました。「座って履いたら遅い!」「立ちって履いた方が速かった!」と感じ取っていました。今後、様々な場面において靴の素早い履き方、頭巾を被る練習を重ねていけるように工夫していきます。



5 歳児 らいおん組

近年、火災や地震だけではなく、大雨、洪水、土砂災害等、災害が身近になっています。自分の命を自分で守るために、子ども達一人ひとりが防災について意識をもつことが大切です。園では、万が一に備えて保育者が持ち出す避難リュックを常時用意しています。そのリュックの中には何が入っているか、実際に子ども達に見せています。「お水が出なくなるかもしれないもんね」「ご飯が作れなくなったら、(乾パン)食べるんだ～」「歩けない赤ちゃんがいたら、おんぶするの?」等、“もし、〇〇になったら”を想像していました。また、「お家にも水と、すぐ食べられるご飯買ってある」と家庭での備えについて知っている子もいました。防災についての関心の高まりが自分の命を守ることに繋がります。今後も防災教育を継続していきます。